

教育テック大学院大学 3つのポリシー

教育情報コース 目標

「教育界の課題をグローバル視点で自ら進んで発見し、かつ、科学的に分析し教育学・情報学・経営学の方法論や知見を基礎に、特に情報学の知識・スキルから、デジタル教育環境の実現やデジタル人材の養成、さらに進んで教育テックによる社会変革に参画・実現できる人材の養成」を行う。

教育経営コース 目標

「教育界の課題をグローバル視点で自ら進んで発見し、かつ、科学的に分析し教育学・情報学・経営学の方法論や知見を基礎に、特に経営学の知識・スキルから、未来の学校・民間教育組織に対応するよう経営を変革できる人材の養成、さらに進んで教育テックによる社会変革に参画・実現できる人材の養成」を行う。

学位授与方針(ディプロマポリシー:DP)

教育情報・経営リーダーシップ研究科では、下記の修了要件を満たした大学院生について、それぞれの分野の専門的な実践力を修めたものと認め、教育情報学修士(専門職)または、教育経営学修士(専門職)の学位を授与する。

DP1

教育界における課題を発見し、背景や関わる要因をグローバル視点で俯瞰し定義することができる。
(課題発見・要因定義能力)

DP2-1(教育情報コース)

教育界における課題に情報学の知識・スキルを活用し改善・解決することができる。

DP2-2(教育経営コース)

教育界における課題に経営学の知識・スキルを活用し改善・解決することができる。
(改善・解決能力)

DP3 科学的知見に基づき実践からデータを取得し仮説を立て検証することができる。
(科学的な検証能力)

DP4 教育テックによる教育界に関する社会変革を目標に、自らの構想を立てることができる。
(社会変革の構想能力)

教育情報・経営リーダーシップ研究科 教育課程編成の方針(カリキュラムポリシー)

CP1 基礎の提供

各専門分野の基本的な知識とスキルを確実に身につけることができるよう基礎内容を含めた科目を用意する。

CP2 課題発見・要因定義能力の育成

教育界のグローバルな課題を自ら進んで発見し、詳細に定義するための分析手法と視野を広げる科目を用意する。

CP3 ICT 活用による教育改革

ICT の効果的な活用方法を学ぶ科目を用意する。また、教育現場の DX に寄与するための ICT ソリューションの設計と導入に関する科目を用意する。

CP4 経営学の知見を利用した教育経営改革

未来の学校や民間教育組織に対応するための経営戦略を設計・実行できる能力を育成する科目を用意する。

CP5 科学的検証能力の強化

学生が教育界の諸課題に対してデータ収集、仮説設定、検証を行う能力を身につけるための科目を用意する。

CP6 社会変革の構想能力の育成

教育テックを活用して教育界における社会変革を構想し、その実現に向けた戦略的思考と実行力を養成する科目を用意する。

また、各科目は 90 分×8 回で 1 単位の講座と 180 分×7 回+90 分×1 回で 2 単位の講座を用意し、隔週で開講することで社会人に対して効率的な学びを提供する。

学修成果の評価については、シラバスにおいて授業科目ごとの到達目標および成績評価基準を明示したうえで、レポートや発表内容、ディスカッション内容、授業態度により総合的に行う。

別に定める修了要件を満たすことでディプロマポリシーに示された能力を習得する。

求める学生像(アドミッションポリシー)

AP1 オンライン授業に必要な、一般的な ICT 知識・技能を有し、かつ教育学・情報学・経営学のうち、いずれかの分野の知識・技能を有していること。(知識・技能)

AP2 教育学・情報学・経営学・現代社会のうち、いずれかの分野の課題を発見し、考察するための柔軟な思考力を有していること。(思考力)

AP3 実務経験を有し、教育への ICT の活用もしくは教育機関の経営に強い関心を抱く者であり、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ意欲を有していること。(主体性・協働性)